医療法人社団 青泉会
下北沢病院

イボ

イボは HPV(ヒトパピローマウイルス) の感染によって皮膚にできます。通常痛みはありませんが、見た目が悪かったり、特に足にできるイボでは、時には痛みやかゆみを伴うこともあります。タコやウオノメと間違えやすく、削ってみたら出血してしまった･･･という事もよくあります。



イボができる原因

足底にできるイボはＨＰＶ(ヒトパピローマウイルス）に、皮膚が直接接触することが原因です。身体の他の部分にできるイボもこのウイルスが原因です。足底のＨＰＶ感染は、更衣室、プールなど裸足で歩く場所で感染することが多く、また、家族に感染者がいれば家で感染することもあります。

自宅でのケア

基本的にイボは自然に治癒しますが、早く治したい場合はイボを完全に切除する手術もあります。また、市販のイボ取り薬も色々とありますが、これらは時に危険なこともありますので、自分でイボを取るのはやめましょう。

予防方法

更衣室やプールなど公共の場を裸足で歩くことは避けましょう。また、家族にイボの感染者がいる場合は、タオルやバスマットなどは一緒に使わないようにしましょう。



治療方法

液体窒素で患部を焼きます。また、患部を切除して薬剤を塗布することもあります。



完治後の写真

医療法人社団 青泉会 下北沢病院
〒155-0031
東京都世田谷区北沢 2 丁目 8-16
受診受付窓口
TEL：03-3460-0300
http://shimokitazawa-hp.or.jp/